

はじめに

兵庫県教育長

西 上 三 鶴

昨年来、新型コロナウイルス感染症は世界中でこれまでの生活や経済活動に大きな影響を及ぼしているが、奇しくもグローバル社会を実感させることになりました。私たちの生活環境や教育活動も大きく変わりました。このことで、不安やストレスを感じ、不安定になる子どもも少なくありません。これからも、子どもたちが発するSOSや変化に周囲の大人がいち早く気付き、一人ひとりに寄り添って取り組むことが大切です。

グローバル社会が進展し、ICTの進歩が社会の変化を加速させることで、これからの社会は予測困難な激しい変化の時代を迎えています。

学校教育においては、これまで段階的に進めていくこととしていたICTの環境整備が一足飛びに進みました。小・中学校でのGIGAスクール構想、県立学校での学びのイノベーション推進事業、そしてBYOD導入により、1人1台端末の環境も一部のモデル校での話ではなく、全学校で実現していくこととなります。子ども達も新しい学習方法を楽しみにしているはずで、皆さんが教育指導の工夫の幅を大きく広げられることを期待します。

新しい学習指導要領が、昨年度は小学校、今年度は中学校でスタートしました。新学習指導要領の総則では「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童（生徒）に、生きる力を育むことを目指す」と定めています。また、高等学校では、主体的に判断・行動し、新たな価値観を創造できる力の育成、多様な価値観を持つ人々との共生が求められています。

本書は、第3期プランの基本理念である「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」を教育現場で着実に実施する手引きであるため、構成は変えていませんが、新型コロナウイルス感染症に関連すること、ICTに関連することなど、流れを踏まえた修正をしています。

令和3年度も感染症や災害の発生により、必ずしもベストな状態で教育を行うことが難しい場面があるかもしれません。しかし、いかなる状況でも、常に子どもを中心に置き、ICT等も効果的に活用しながら、未来社会の担い手を育む教育を止めてはいけません。皆さんの豊かな発想力と強い情熱から作り出される、工夫と活力に富んだ教育活動を展開するために活用ください。

令和3年3月